



# 中高生とともに差別と闘う

## 『自分にとっての人権学習1』

吉成タダシ（うずしおブランチ代表）



自分の個性も認めていけるように  
前号のつづき。三年生になって  
すぐの学年全体人権学習で、自分  
の髪について語った女子生徒の  
思いを受けて書かれた感想です。

\*

私は今回の人権学習で、とても  
共感ができる発表がありました。  
それは、Fさんの発表です。私も  
昔からくせ毛に悩まされていて、  
幼稚園のころからヘアアイロンを  
使わないと外に出られませんでし  
た。ですが、小学六年生の時に修  
学旅行でヘアアイロンをもってい  
くの禁止され、初めて縮毛矯正  
をかけました。私もFさんのよう  
に、自分の髪ではないような感覚  
になりました。周りに縮毛の人が  
少ないので、今回このような発表  
を聞けて良かったです。

縮毛ではなく直毛の人に、「髪  
がまっすぐすぎて巻いてもパーマ  
を当ててもすぐに戻る」という悩  
みを聞いたことがあります。私は  
直毛の人のことをうらやましく感  
じていましたが、それはそれで苦  
勞することがあるのを知りまし  
た。このような話はなかなか普段  
の生活の中であることが少ないの  
で、人権学習でもこんな内容の話  
題が増えてほしいです。そして、  
人それぞれの個性はもちろん、自  
分の個性も認めていけるようにな  
りたいです。

私は、ないものねだりをよくし  
てしまいがちですが、自分の良さに気  
づけると、それも減るのではない  
かと思います。人それぞれ持つて  
いるものは違うので、互いに認め

合いながら、自分の良いところも  
見つけられるようになりたいです。

\*

同じ思いをもつ仲間はずいど  
こかにいる。同じ思いではなくて  
も、似た思いをしている人は必ず  
いる。そこに共感が生まれること  
で孤独感は消えていくだろうし、  
「自分は自分のままでいい」と思  
えるように変わっていきけるのだ  
と思います。

### 自分にとっての人権学習1

また授業の最後の場面では、私  
からこんな発問をしました。

「あなたにとって、このような人  
権学習の時間にはどんな意味が  
ありましたか。」

これに対する応答は実に見事  
でした。それぞれ視点は違うので  
すが、そのどれも心当たりがあ  
り、どれもが正解のように思える  
のです。つまり、「みんなが語り  
合う人権学習」には、実に多彩な  
効用があるということなのだと思  
います。

\*

◆「これまで学んだ人権学習を通  
して、過去の人々の努力を見て、  
私もこんな人になりたいという  
思いがあるので、頑張ろうと思  
います。」

今思えば、「恥でないことを恥  
と思うとき、本当の恥となる」と  
いう言葉に、ずいぶんと救われた  
と思います。テストでどれだけ友  
達に馬鹿にされても、発表で間違  
えたりとか、自分の感性を否定さ  
れたりとか、どんな些細なこと

も、私の感性はその言葉にとても  
救われたと思います。この言葉に  
出会えたのは人権学習のおかげ  
です。これからも主体的に学習に  
取り組み、誰かを救える、共に闘  
える、そんな存在になりたいと思  
いました。」

人権学習で学んだ先人の生き様  
やメッセージが自分のなかで生  
きて働き、それがこれから生きて  
いくうえで支えになっていく  
と言います。

\*

◆「私にとってこれまでの人権学  
習は、これから社会に出て必要な  
力、今ふれている周りのみんな  
と、上手く付き合ひ、向き合う力  
をつけてくれる時間でした。誰か  
を無駄に傷つけることなく、でも  
自分の意見をぶつけ合ひ学んで  
いく機会、これからほとんどで  
きなくなるかもしれないから、今  
できる最大限の人権学習に取り  
組みたいです。」

思っていることを言わないので  
はなく、だからといって自分本位  
に言葉をぶつけるわけでもなく、  
相手をリスベクトしながら対話  
するというスキルを学んだと言  
います。考えれば、そんなに親し  
くもない同級生と対話を構築し  
ていくという機会は、あまりない  
のかもしれない。

\*

◆「人権学習では、たくさんの方  
の思いを知ること、自分もあの人  
のようになりたいとか、今の自分  
のここを変えたいと自分を見つめ  
直して、レベルアップ

プした自分になることができま  
した。成長させてくれた人権学習  
には、とても感謝しています。」  
人権学習でみんなと語り合っ  
ていくなかで、身近な友人の思い  
にふれ、それが自分にとっての身  
近なモデル（理想像）となり、自  
分の目標となつて成長すること  
ができたと言います。

\*

◆「私が過ごした人権学習は、自  
分の価値観で終わることのない  
時間になったと思います。自分以  
外の他人の意見を聞くことで、違  
う視点から考えることのできる  
時間になれると思います。でも他  
人の意見に左右されて、自分の意  
志まで変えてしまうことが過去  
にあったから、そういうことにな  
る学習にはしたくないと思いま  
す。」

他の意見や考えにふれると、「そ  
れもいいな」と、それまでの自分  
がブレてしまうことがあります。  
それもとくにはいいでしょう。で  
も、自分が大切にしてきたもの、  
大切にしたいことすらも変えて  
しまうと、自分らしさを見失いま  
す。かといって他の価値観にふれ  
ないというのも、視野が広がらず  
良いようには思えません。人権に  
ついては特に、他の意見や考えに  
ふれず、自己完結した価値観で物  
事をはかってしまうことがよく  
あります。他の価値観にふれ、敢  
えてブレることによって自分の  
立ち位置を確認するプロセスが  
必要だということを言ってくれ  
ています。

(つづく)